

あとがき

お茶の水女子大学を退官された犬養廉教授の喜寿の祝いのあと、平安和歌を読む楽しみのため、阿佐ヶ谷の犬養家に一か月おきの頻度で輪読会をしようと考えた。出来れば三十分以内で集まれる近い範囲に住むメンバーの集まりとし、今まで注釈書のない『古今和歌六帖』を読もうということになった。

四千数百首という大部な歌集ゆえ、一人一回五首を分担し、十二人全員が発表する、歌意を確定することを主眼に六十首読む、という方法をとった。各人がトレーニングを受けた国文学の演習は一首の発表に二時間かける精読だったが、その方法はとらないことにした。また、そこで各自が得た知見を学術誌などに公表することは自由である、という了解のもとにスタートした。和歌の理解という共通の楽しみによって、毎回和気藹藹、自由闊達な集まりであった。

六年後、二〇〇五年に犬養先生が、続いて二〇〇八年に悦子夫人も逝去され、輪読会は休止となった。その後、犬養邸から場所を平野の保谷の研究部屋に移し、再開。現在にいたる。新会員もふえた。近年、メンバーの中から注釈の出版を望む声が高まり、輪読を進める一方、第一帖に限定して見直し、書式を整え、不備をなくし、完全原稿を作成することにした。第一回目の発表資料をすべて再検討すると、公刊を予期しなかった段階とは違い、大幅な補足が必要となった。先に述べた経緯から、本人が手を入れた場合と、担当者が変わったところがある。

なお、公刊にあたってはこれまでにないまったく新しい方法を考えた。たまたまお茶の水女子大学がはじめたE-bookサービスによることにしたのである。これは、寡占化が進むロジャーナル価格戦

略への対抗策として、研究成果を人類の共有すべき知的財産として提供するというものである。ネット環境が利用できる環境にありさえすれば、いつでも、誰でも、どこでも、無料で利用できる。もちろんこれまでの書籍という出版形態が非常にすぐれたもので、私どもとしてもそうした仕組みを今後とも尊重してゆきたい気持ちには変わりはない。

先述のように『古今和歌六帖』は非常に大きな歌集であるし、これが初めての注釈でもある。すべての読解が終わるまでにはあと何年もかかるかもしれない。とりあえず、巻一の整理がいたので、ひとつの試みとしてWEB版により公開してみたのである。内容に不備があったら直ちに訂正可能という利点もある。こうした形態による公開の方法について、あるいは内容について、忌憚のないご意見をお聞かせ願えたら幸いである。

メンバーは担当の順に、

長戸千恵子、青木太朗、*犬養廉、三浦狭依、*橋本智美、杉本まゆ子、平野由紀子、斎藤熙子、
中野方子、*犬養悦子、山下道代、林マリヤ、久保木哲夫、加藤静子、市東奈々、諸井彩子、
尾高直子

である（*は退会者）。

二〇一一年一〇月

平野由紀子

古今和歌六帖全注釈 第一帖

2012年3月28日 初版発行

著 者 古今和歌六帖輪読会

発 行 お茶の水女子大学附属図書館(E-book サービス)

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

<http://www.lib.ocha.ac.jp/>

電話 03-5978-5835 FAX 03-5978-5849

ISBN 978-4-904793-03-9 C3092

本著作の著作権は著者が保持しています。著作権法上の著作権の制限を超える利用については、お茶の水女子大学附属図書館にお問い合わせください。